

環境調査結果のお知らせ

平成25年7月24日午前9時から野見・須崎湾の環境調査を行いましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、水温22～28℃、塩分32～33、溶存酸素濃度6～7mg/lでした。
 透明度は5～9mで、有害種のシャットネラ属、カレニア・ミキモトイ等が少数確認されました。今後の動向に注意してください。

水温と塩分(表1・2)

湾内の水温は22.1～27.8℃、塩分は31.7～33.3でした。前回調査時(H25.7.11)と比較して、水温は同程度、塩分は0～2上昇していました。

溶存酸素濃度(表3)

湾内の溶存酸素濃度は5.78～7.18mg/lで、前回より0～1mg/l低下していました。

プランクトン(表4・5)

透明度は4.8～8.6mでした。
 検鏡の結果、魚類に対して有害なシャットネラ属が最高2cells/ml、カレニア・ミキモトイが最高1cell/ml、ヘテロシグマ・アカシオが最高220cells/ml確認されました。その他、有害種のデイクチオカ・フィビュラ、ケラチウム属、ミリオネクター・ルブラも少数確認されました。

海や養殖魚の状態に変化や不安を感じた時は、よく洗ったペットボトルに海水を汲む等して、中央漁業指導所か水産試験場まで連絡してください。

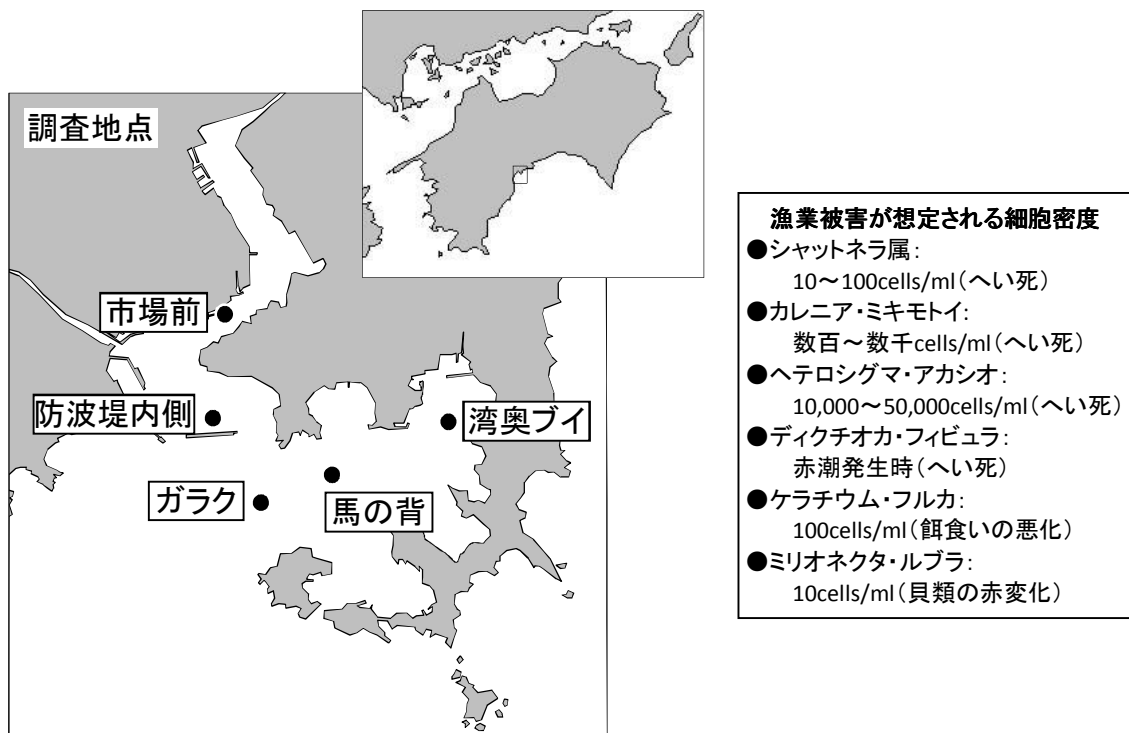


表1 水温(°C)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤 内側	漁場平均 ※	前回調査(H25.7.11)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	27.6	27.3	27.5	27.8	27.5	27.4	0.0	28.3
2m	27.3	27.0	27.2	27.8	27.2	26.9	0.3	27.1
5m	26.8	26.7	26.4	27.1	26.7	26.1	0.5	26.7
10m	26.1	25.8	24.6	25.5	25.5	25.1	0.4	-
B-1m	24.5	22.1	22.8	24.5	23.1	23.3	▲ 0.2	26.3

表2 塩分

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤 内側	漁場平均 ※	前回調査(H25.7.11)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	32.3	32.5	32.6	31.8	32.4	30.9	1.5	30.6
2m	32.3	32.6	32.6	31.7	32.5	31.0	1.5	32.3
5m	32.6	32.7	32.7	32.5	32.7	31.4	1.2	32.6
10m	32.6	32.8	33.0	32.8	32.8	32.2	0.6	-
B-1m	32.8	33.3	33.3	32.9	33.1	33.1	0.0	32.7

表3 溶存酸素濃度(mg/l)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤 内側	漁場平均 ※	前回調査(H25.7.11)		市場前
						漁場平均※	前回との差 今回-前回	
0m	6.92	6.39	6.55	7.11	6.62	7.34	▲ 0.72	6.92
2m	6.85	6.16	6.43	7.18	6.48	7.50	▲ 1.02	6.78
5m	6.29	6.17	6.22	6.94	6.23	7.25	▲ 1.02	6.69
10m	6.04	6.44	6.32	6.70	6.27	7.02	▲ 0.76	-
B-1m	5.78	6.62	6.58	6.62	6.33	6.40	▲ 0.07	6.64

※湾奥ブイ・馬の背・ガラクの平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	湾奥ブイ	馬の背	ガラク	津波防波堤 内側	市場前
水深	17.0	24.9	15.6	16.6	9.3
透明度	4.8	8.6	7.1	6.0	3.1
前回透明度	5.5	6.5	4.0	4.5	1.2

表5 プランクトン(cells/ml)

	シャットネラ属	カレニア・ ミキモトイ	ヘテロシグマ・ アカシオ	ディクチオカ・ フィビュラ	ケラチウム属	ミリオネクタ・ ルブラ	ジャイロディニウム属 (ドミナンス、 スピラレ)
湾奥ブイ	0m	0	0	0	2	4	12
	2m	0	0	0	0	1	5
	5m	0	0	0	1	2	1
馬の背	0m	0	0	0	0	3	7
	2m	0	0	0	0	1	2
	5m	0	0	0	0	2	4
ガラク	0m	0	0	0	0	0	3
	2m	0	0	0	0	1	2
	5m	0	0	0	0	0	4
津波防波堤 内側	0m	0	0	1	0	8	5
	2m	0	0	4	0	6	5
	5m	0	1	1	0	1	0
市場前	0m	0	0	220	0	1	0
	2m	0	0	40	0	0	1
	5m	2	0	30	1	1	4